

## 4つの自治体が日本遺産申請に向け連携

～「女人高野」をテーマに新たな魅力の創造と地域の活性化を目指して～

奈良県宇陀市・和歌山県九度山町・高野町（※50音順としております）・大阪府河内長野市の4つの自治体は、「女人高野」をテーマに日本遺産認定へ向けて連携している。

高野山は開創当初から近代まで、修行者の墮落を防ぐための不邪淫戒という戒めにより、「女人結界」が定められ、女性の立ち入りを禁止していた。そのため、結界近くでは「女人堂」が建てられ、麓や街道沿いには「女人高野」と呼ばれるお寺が高野山での参拝が叶わない女性の祈りを受け入れてきた。



古くから女人高野で知られる天野山金剛寺（河内長野市）

万年山慈尊院（九度山町）、<sup>べんいちさん</sup>一山室生寺（宇陀市）、そして、天野山金剛寺（河内長野市）は、いずれも古くから「女人高野」と呼ばれ、多くの女性が訪れた。また、高野山への参詣道には、女人堂（高野町）が建てられた。このような地域の共通性に着目し、女人高野と女人堂という女性の祈りが奉げられた場所をストーリーで相互に結び、さらに日本遺産の認定を受けることで、新たな魅力を創造し、地域の活性化を目指して行く。

なお、10月3日（木）午後1時より宇陀市で第3回目の「日本遺産」認定申請シリアル会議を開催する予定であり、ストーリーや認定後の地域活性化策について検討する。当日の取材については、午後2時30分より可能。

※「日本遺産（Japan Heritage）」は地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としている。

お問い合わせ

河内長野市教育委員会生涯学習部（☎0721-53-1111）